

令和元年度食文化セミナーの実施報告

栃木県食品産業協会の主催事業である食文化セミナーを令和元年11月25日（月）午後、宇都宮市内のコンサーレ（栃木県青年会館）において実施しました。

当日は、消費者、食品製造事業者、農政関係者、食生活の改善を推進している方など多数の参加を得て開催することができました。

講演では、「食品が安全とはどういう意味か」「食品のリスクは必ずしも低くはないこと」「食品添加物や健康食品はどういうものなのか」「食品安全で最も大切なことは衛生管理であり、多様な食品からなるバランスのとれた食生活の必要性」など多数のデータ・事例を提示しての講話がありました。

来年度も食に関するセミナーを開催しますのでよろしくお願い致します。

以下は、食文化セミナーの実施状況です。

○演題

食の安全安心

～食品添加物から健康食品～

食の安全を考える

～ゼロリスクという幻想～

○講師

畝山智香子氏（薬学博士）

国立医薬品食品衛生研究所

安全情報部長



(左)増淵食産協会長 (右)畝山講師